

## 剣道で学んだこと

宮崎県

朱雀館道場

小学6年 大塚 日菜子

私は五年生の六月に剣道を始めました。一年を通して、私は普段の稽古で楽しいと思う事、大変だなと思う事がたくさんできました。その中で、稽古で大切にしていることがあります。

一つ目は、「気剣体一致」です。打ちこむ時声が小さくなってしまったりとまだ気剣体一致が上手にできません。しかし、色々な稽古をする時にしっかりと打つ事が出来るように心掛けていき、一つ一つの練習に集中する事で少しずつですが意識しなくてもできるようになってきました。

二つ目は、「礼」をしっかりとするという事です。剣道は「礼に始まり礼で終わる。」といわれています。私は、剣道の練習の時に行う礼をしっかりとするように心掛けています。しっかりと礼をする事は相手を敬うことになると思うからです。

剣道において一緒に稽古や試合をしてくれる相手に対しての敬意を持つことは大切だと思うのです。

三つ目は、基本打ちを行う時の気持ちです。私は、まだ連続技が上手くできません。今は日々の稽古で基本打ちの技を一つ一つ大切にするように心掛けています。

初めて試合に出させてもらった時、団体戦で次鋒を務めました。チームは優勝しましたが、周りの人達は強い人ばかりで私はそれぞれの試合で引き分けや二本負けをしました。

その時、とても悔しくて自宅に帰って兄と弟と素振りをしたり、面打ちの練習を一緒にしてもらいました。毎日道場に通う事は出来ませんが、通える時にはその時その時の稽古に集中していきたいと思います。

来年私は、中学生になります。中学生になるとこれまで以上に学業が大変になると思います。その中で私は学業と剣道をしっかりと両立できるようになりたいです。

小学校では、剣道に通うようになって、しっかりと大きな声であいさつができるようになり、今年の運動会では放送委員のオーディションに受かることが出来ました。

剣道での声がオーディションで役に立ったと思います。

剣道の目標は、日々の基本打ちの稽古の一つ一つを大切に気剣体一致を意識しながら常に試合をしているような気持ちで臨み、日々剣道をさせてくれる環境に感謝し、成長していきたいと思います。

そしてもう一つは集中力を養う事です。剣道を始めてから何事も集中して取り組める事が増えてきました。剣道の試合は一瞬で勝負が決まります。その一瞬を後悔しないようにしたいです。

学業では、私は将来人の役に立つような仕事に就きたいです。なぜかという、新型コロナウイルスや災害が起こる中で人のために頑張っている人達を見て私もそういう職業につきたいと思ったからです。

私はしっかりと学業でも剣道でも自ら考え学び行動できるような人になりたいと思います。